

平成24年度 冬のエコスタイルチャレンジ 項目ごとの「具体的取り組み内容」

⑦その他独自の取り組み内容

業種	
卸売・小売業	社内設備に『太陽光発電システム』『LED照明器具』設置
	冬時間制導入(12,1,2月/8:45~17:00)電気自動車の活用/近距離業務対応
	照明の間引き、食堂、トイレはもちろん、工場の節電消灯に取り組む
	社用での外出は、ハイブリッドカーの利用
	ファンヒーター2台中、常時稼働は1台のみ
	エコキャップ回収運動開始 エコドライブ10の実施
金融・保険業	館内照明の間引き点灯実施
建設業	ブラインドの有効使用、お昼休みの消灯の徹底、省エネ、エコドライブ、安全運転の教育実施(年2回以上)、ゴミ削減、分別徹底のための社員教育スローガン募集と優秀作品の表彰、掲示
	アイドリングストップ運動、今後も継続して取り組む
	毎月の電気使用状況を提示して意識付けを継続した。
サービス業	継続取組:自動販売機の省エネ・電気ポット・トイレのジェットタオルの使用禁止
	手順書により実施、環境会議にて報告
	自販機夜間停止、電気ポット、ジェットタオルの不使用
	エアコン、ファンヒーターから対流式ストーブへ変更、そのストーブでお湯を沸かし、魔法瓶ポットを使用する
	冬の節電行動計画を策定。「照明」「空調」「電源」に区分し、対策項目を設定し実施
	事務室照明の間引き点灯。トイレジェットタオルの停止。便座暖房の温度低め設定、蓋閉め
	自動販売機の運転時間短縮照明の間引き点灯
お客様のところで使用させていただく水等は節約に心がける。社内での給食弁当は割り箸辞退でマイ箸を使用	
情報通信業	昼休みの消灯。室内照明の間引き。時間外勤務の削減
	エコキャップの回収、エコバックの持参、再生紙の使用などエコ製品の選択購入を行った
製造業	電力監視システムを活用した節電、ピークカット
	SCR活動を実施
	3つある事務所の内の一つのフロアに、ペレットストーブを導入した。H24,11,29。エアコンによる暖房だけでなく、直に熱を感じる事が出来ると共に、電力抑制にも役立った。
	「エコドライブ10のすすめ」をカード化し、全社員に配布と社有車に掲示
	空調等を一時的に停止する省エネタイムを設定し、節電に努めた
	温水ボイラー設定温度変更。コンプレッサー排熱の製造フロアへの夜間取り組みで暖房深低減
	エアコンフィルターの清掃
	業務で電気自動車を活用
	休出時のブルーヒーター活用。休憩時間の消灯など継続
	環境活動のテーマにて取り組みを実施
団体	出張時の相乗りについては、課題が多い。それ以外は、徹底されてきている。
	コミュニティラジオの番組でもウオーミングアップや節電を取り上げ、市民への普及を図る
	エコアクション21の取組み。
	サーモグラフィーを用いた省エネ活動(保温箇所の決定、保温材の劣化診断等)を実施。
電気・ガス・熱供給・水道業	節電啓発の張り紙や、庁内放送を行ったほか、定時退庁を呼び掛けた
	ポスター、メールによる周知徹底
	【空調】不在時の会議室・休養室等の空調停止
	【照明】共同スペースの蛍光灯の間引き、日中の執務室・教養スペースの原則消灯(執務室は300ルクス確保)、終業時の最小限の照明利用の徹底と、最終退出者の確実な消灯
	【給油等】便座暖房・温水の温度設定低め運用、自動販売機の照明消灯、10時以降の電気ポット等原則使用停止
	【OA機器】休憩時間・帰宅時等におけるパソコン等のプラグ抜きの徹底、パソコンの省エネモード設定、テレビ・ビデオ・携帯電話充電器等不使用時のプラグ抜きの徹底
	【その他】エレベーターの利用制限、ロードヒーティングの停止
可燃ごみのうち、できるだけ紙資源を再利用できるように区分し、リサイクル資源としての排出を行った。	